

第 10 次厚木市総合計画基本構想（案）に対する意見交換会について

| | | | |
|--------------------------|---|---|-------------|
| 政策等の議題(テーマ) の名称及び検討事項 | | 第 10 次厚木市総合計画基本構想(案)に対する意見交換会 | |
| 開催日時 | | 令和2年9月 27 日(日) 午後2時から3時 30 分まで | |
| 開催場所 | | ぼうさいの丘公園講義室 | |
| 出席者数 | | 13 人 | |
| 担当課 | 企画政策課 | 結果公開日 | 令和2年 10 月9日 |
| 会議の経過 | <p>1 開会 ※ 会議の冒頭、本計画案についてはパブリックコメント期間中であるが、直接市民の皆様から御意見を伺うため開催した旨を説明。意見については、パブリックコメントとして策定に当たって参考とさせていただくことを了承いただいた。</p> <p>2 部長あいさつ</p> <p>3 第 10 次厚木市総合計画基本構想(案)の説明</p> <p>4 意見交換</p> <p>5 閉会</p> | | |
| | 質問・意見の概要 | 市の考え方 | |
| 1 | 年号表示について、基本構想(案)の文章中には、和暦の後に西暦が表示されていますが、グラフを見てみると和暦表示のみとなっており、西暦の表示がありません。比較する際に、見づらいため、改善していただければと思います。 | 年号表示については、スペースの都合上、現在の表示になっていますが、今後、冊子にするに当たり、体裁等は整えたいと思っています。 | |
| 2 | 自治会長をしておりますが、地域の皆様になかなか御参加いただけておりません。SDGs でも「誰人取り残さない」と誓っています。行政も市民も一生懸命努力して、皆で一緒にやっていく取組が必要だと思えます。 | 新しい地域コミュニティのあり方、作り方といったものが今後重要になってくると思っていますので、御意見をしっかりと受け止めたいと思います。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 3 | <p>人口の推移について、令和2年3月に改訂した、まち・ひと・しごと創生総合戦略では、人口の推移を最高で22万9千人としており、その後は下降線をたどっています。市がいろいろな努力をすれば、その下降線がなだらかになり、何もしなければ、下降線の角度が急になるというグラフがありましたが、その人口ビジョン・総合戦略と総合計画の数字の整合性はどうなっているのでしょうか。</p> | <p>人口ビジョン・総合戦略との整合性について、今年度、人口ビジョン・総合戦略の見直しを図っているところです。総合計画の目標人口は人口ビジョンと同じ算出方法に基づき設定しており、現在は総合計画で先行して数字を設定していますが、当然整合性は図っていきます。</p> |
| 4 | <p>スケジュールについて、本来なら基本構想を先に示し、それに基づき基本計画、実施計画と展開していくもの。9月でまだ基本構想ができていないということは、総合計画に紐づく個別計画などは同時並行でやらなければならない状況だと思う。この点に関して行政はどう考えているのか。</p> | <p>御指摘のとおり、総合計画に紐づく個別計画については、現在並行して策定を進めています。庁内で内容を共有して策定に取り組み、整合性を図っていきたいと思っています。</p> |
| 5 | <p>SDGs への取組について、個々の目標を厚木市の中でもまちづくりにかしていくという部分の説明になるのかと思いますが、説明が非常に分かりづらい。また、国連が発表しているロゴをそのまま使用していますが、これについても分かりづらい、ロゴの使用規則の範囲内で、注釈をつけるなど工夫をしたほうがよいのではないかと。</p> | <p>参考にさせていただき、分かりづらい部分については、ガイドラインに基づき解消していきたいと思っています。</p> |
| 6 | <p>高齢化、医療問題を抱え、支出がますます増えていく状況の中で新庁舎の建設を予定しているが、その予算はいくらか。</p> | <p>新庁舎の整備事業費は、厚木市複合施設等整備基本計画(令和2年1月策定)において、図書館、(仮称)未来館、消防本部、国県の行政機関等の機能からなる複合施設の概算建築工事費として、約224億円(本体建築工事費のみ。)と想定しています。</p> |
| 7 | <p>社会資本の老朽化のグラフだけ平成26年度までのデータになっているのはなぜか。</p> | <p>このようにまとめたデータは現在掲載しているグラフが直近のものになっています。昭和50年代を中心に整備された公共施設が多いことを示すためにこのグラフを使用しています。現</p> |

| | | |
|----|---|--|
| | | 段階でどのように変えていくかは未定ですが、適切なものがあれば差替えを検討します。 |
| 8 | 内容が非常に抽象的で、いいことばかり言っているという印象。具体的なことが何も見えません。もう少し具体的に分かりやすい構想を作っていただきたいです。 | 基本構想ということで、抽象的な内容になっていますが、基本計画では施策別の取組や数値目標を掲げています。11月に基本計画を皆様にお示しし、意見交換会を開催する予定です。また、令和3年1月には、基本計画に関するパブリックコメントを実施する予定です。 |
| 9 | 環境問題への対応について、世界的に厳しい状況にあり、厚木市でもシビアに考えなければいけない問題です。二酸化炭素ゼロ宣言をしている自治体や気候非常事態宣言をしている自治体が日本でもいくつかあります。厚木市としてもそういった宣言をし、目標を明確に定めた上で、いろいろな施策があるべきではないでしょうか。 | 二酸化炭素ゼロ宣言等、環境への具体的な取り組みについては、それぞれのまちづくりのビジョンの一つの柱として設けていますので、基本計画の中で取組の方向性等についてお示しします。また、宣言になるのか、総合計画の取組とするのかについてはこれから検討します。 |
| 10 | 総合計画策定のスケジュールについて、詳しく伺いたい。 | 基本構想については、パブリックコメント終了後、12月に市議会への提案を予定しています。 基本計画については、素案を11月に皆様へお示しし、意見交換会で御意見を伺い、その後、令和3年1月にパブリックコメントを実施するという流れになります。 実施計画については、パブリックコメントの実施等は予定していません。 |
| 11 | 出張出前講座という取組があるが、基本構想や基本計画について講座で説明を聞くことは可能か。 | 第10次厚木市総合計画策定後については、出張出前講座の実施も考えていますが、策定中については、意見交換会等で皆様に御説明していきたいと考えています。 |
| 12 | ビジョンに対する進行管理について、今は抽象的で、具体的な数字は人口目標の22万人くらいしか挙がっていない状況だと思う。基本計画以降で具体的な数字がでてくるということだが、その部分の市民参加はどうなるのか。 | 基本計画では、それぞれの施策に六つのビジョンがあり、その下に取組が位置づけられます。その中に6年分の目標値を定めていく予定です。それらの進行管理については、無作為抽出による市民の皆様へのアンケート調査を実施する予定となっています。 |

| | | |
|----|---|--|
| 13 | 基本構想は議会の議決が必要か。 | 必要です。 |
| 14 | 実施計画について、基本構想や基本計画はパブリックコメント等で市民参加を行っているが、実施計画は市民参加など、市民が入っていくことはできるのか。 | 実施計画については、基本計画に基づく具体的な予算事業が位置づけられています。これについては、進行状況はホームページ等で公表し、市民の皆様へ「見える化」をしていきますが、パブリックコメント等を行う予定はありません。 |
| 15 | 庁舎移転に伴い、各地区の公民館に介護事業者を支援するためのシステムを構築してもらいたい。民間の介護事業者だけでは、これからますます増えていく高齢者を支援していくことは不可能だと思う。 | 地区の拡充は重要なことだと認識しています。新庁舎を建設するからといって、すべてがそこでできるわけではありません。新しい庁舎を建設するにあたっては、介護や現在の対応課題なども含めて検討します。 |
| 16 | 環境問題への対応について、市として資源化率の目標などはあるのか。 | 現行の数値にはなりますが、家庭から出るごみの資源化率 40%を目標としています。今後、個別計画を策定する際には、このような数字についても新たに設定します。 |
| 17 | 基本構想の中に、SDGs の 169 のターゲットを入れたらどうか。 | 総合計画を冊子にするにあたり、資料を用意し索引部分などに言葉のキーワードを説明したものを入れる予定です。その資料の中に、分かりやすいものがあれば、検討していきます。 |